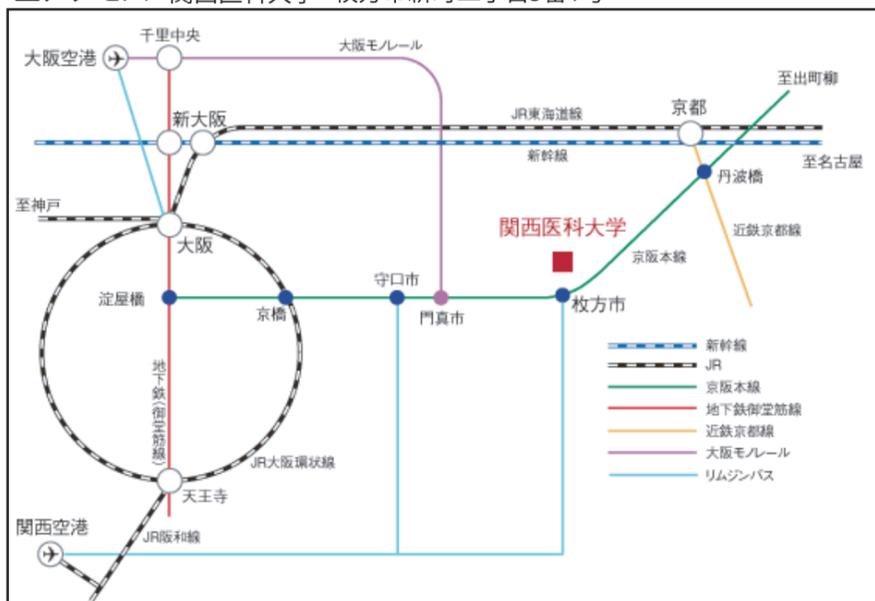


Schedule

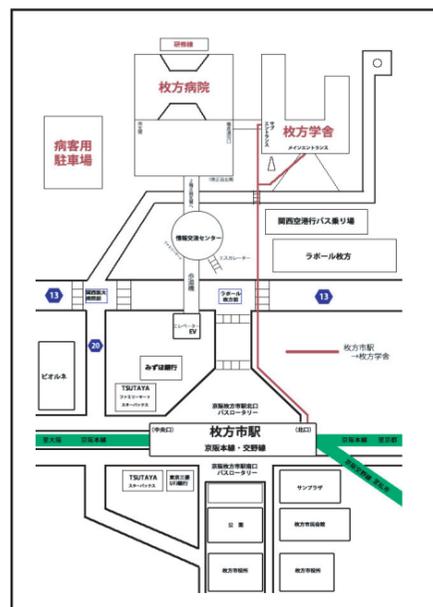
9:30	開場 受付(南棟1階 加多乃講堂前)		
10:00-12:00	全体会「移民国家はいかに通訳認定制度をつかったか？」 会場:南棟1階 加多乃講堂		
13:00-15:00	医療通訳分科会 「医療通訳の質を考える」 会場:南棟1階 第1講義室	医療分科会 「多様化する医療の現状と展望」 会場:南棟1階 加多乃講堂	
15:30-17:30	Work shop① 「医療通訳制度を創るには？」 -如何にして・つながる(連携) 育てる(育成)・制度化するか- 会場:中央棟4階 カンファレンスルームD	Work shop② 「本音で語り合おう 私たち(通訳)のこと」 会場:中央棟4階 中会議室	Work shop③ 「医療従事者に求められる 異文化間能力とは？」 会場:南棟1階 第1講義室

途中入場できません

■アクセス 関西医科大学 枚方市新町二丁目5番1号



京阪本線・交野線「枚方市」駅 徒歩3分です。



インターネットからお申し込みください

<http://www.tabunkakyoito.org>

※電話での受付は行っておりません
Faxフォームを上記サイトからダウンロードできます。

締め切り 12/12(木)

定員に達し次第申し込みを締め切らせていただきます。
定員をもうけている分科会がありますので、参加ご希望の方はできるだけお早めにお申し込みください。



多文化共生センターきょうとは、国籍、民族、文化、言語、性などの「ちがい」を越え、共に豊かに生きることのできる多文化共生社会の実現にむけて医療通訳の養成、派遣多言語医療支援システムの開発などの事業を展開しているNPO法人です。

事務局・問い合わせ先

特定非営利活動法人 多文化共生センターきょうと
〒600-8191 京都市下京区五条通高倉角塚町21 jimukino-ueda bldg. 206
電話075-353-7205 Mail info@tabunka-kyoto.org

医療通訳の現在・未来を考える

第4回 医療通訳を考える全国実践者会議



агури шигено

医療通訳を考える全国会議では、医療現場におけることばの問題に取り組んでいる行政、国際交流協会、NPO、医療関係者、通訳者などが集まり、医療通訳における課題の共有や解決に向けた議論を行ってきました。
第4回「医療通訳を考える全国実践者会議」では、医療通訳や外国人医療に関わる国内外の注目すべき潮流をテーマに取り上げ、医療通訳の今、そして未来について考えていきたいと思います。

日時:2013年12月15日(日)10:00~17:30

会場:関西医科大学(枚方市新町二丁目5番1号)

参加費 ¥2,500円(資料代込み)

主催 特活)多文化共生センターきょうと 関西医科大学医学部公衆衛生学講座



全体会

10:00~12:00

加多乃講堂
(南棟1F)

「移民国家はいかに通訳認定制度をつくったか？」移民国家における通訳認定の取り組みから学ぶ 多文化共生センターきょうと

スイス連邦における通訳認定制度

スイス連邦は26のカントン（州）から構成される連邦共和国であり、約795万人の人口の約22%が外国人が占める移民国家です。スイス連邦はフランス、ドイツ、オーストリア、リヒテンシュタイン、イタリアと国境を接しており、これまで歴史的に多くの移民や難民を受け入れてきました。1991年より勃発したユーゴ紛争による東ヨーロッパ移民の流入を契機に連邦政府は2004年より認定通訳制度をスタートさせました。現在、60言語、850人のスイス認定通訳者（Schweizerisches Zertifikat INTERPRET）がいます。通訳者の育成と認定は通訳基準に従い9つの移民支援団体が行っており、20つの団体が認定通訳者の派遣を行っています。スイス連邦における通訳者の養成、認定、派遣を中心に紹介します。



ヨーロッパにおけるコミュニティ通訳の現状

国際コミュニティ通訳会議「InDialog2013」報告

2013年11月ドイツ・ベルリンで行われた「In Dialog2013」は政府、政策立案者、サービス提供者、研究者、トレーナー、通訳者、異文化間メディエーター等が集まり、「通訳」について議論する国際会議です。「In Dialog」で議論、報告された「ヨーロッパにおけるコミュニティ通訳の今」について報告します。



カリフォルニア州における認定通訳制度 (CommuniCal Program)

アメリカ・カリフォルニア州では、2014年から英語力が十分ではないメディケイド対象の患者に対し、NPOなどと連携して認定通訳者を育成、認定、派遣を実施します。来年4月より始まるコミュニカルプログラムについて、いち早く紹介します。



分科会

13:00~15:00

医療通訳分科会

「医療通訳の質を考える」 第1講義室（南棟1F）

「通訳の質」とは何でしょうか？本分科会では、医療通訳が備えるべき「質」の基本を考えると共に、「質」を備えるためにどのような育成（研修）が必要かを議論していきたいと思えます。

座長：重野亜久里（NPO法人 多文化共生センターきょうと代表）

医療通訳の質とは？

プロの会議通訳者であり、看護師でもある渡辺先生に、通訳者、看護師の両方の視点から「医療通訳の質」について語っていただきます。



渡辺富栄

大東文化大学大学院・青山学院大学兼任講師
会議通訳者、翻訳者、看護師



パネリスト

新垣 智子「多言語医療通訳講座」
(りんくう国際医療通訳翻訳協会 IMEDIATA)

大橋 充人「あいち医療通訳システム基礎研修」
(医療通訳者ネットワーク東海)

重野亜久里「京都市医療通訳養成講座
岐阜県医療通訳育成事業」
(多文化共生センターきょうと)

質の高い医療通訳を育てるには

どのように医療通訳者を育成するのか？通訳研修の方法や内容、育成における課題などについて各研修担当者たちがパネル形式で議論します。

医療分科会

「多様化する医療の現状と展望」

加多乃講堂
(南棟1F)

グローバル化に伴い、医療業界でも外国人患者を受け入れる機会が多くなってきており、各医療機関の特徴にあわせた外国人患者対応が行われはじめています。本分科会では、各医療機関の現状や様々な取り組みを通して、医療機関の国際化に向けた今後のビジョンについて考えていきます。

座長：南谷かおり（地方独立行政法人 りんくう総合医療センター国際診療科 部長）



パネリスト

沢田貴志 神奈川県勤労者医療生活協同組合港町診療所 所長

井田 健 公立甲賀病院 顧問、滋賀県多言語医療通訳ネットワーク協議会 会長

秋山智弥 京都大学医学部附属病院 病院長補佐、看護部長

菱川良夫 兵庫県立粒子線医療センター 名誉院長、
メディポリスがん粒子線治療研究センター センター長

パネルディスカッション

「多様化する医療の現状と展望」



1 医療通訳制度を創るには？

如何にしてつながる(連携)・育てる(育成)・制度化するか

全国で医療通訳制度の立ち上げ、運営にあたり「資金が足りない!」「人材が確保できない!」「育成が上手くいかない!」「関係機関の協力を得られない!」などさまざまな運営面の課題と日々戦っている担当者、団体のためのワークショップです。本ワークショップではそうした課題に対して、コーディネーターと参加者が共に個々の取り組みや互いの成功事例を共有しながら課題解決の糸口を一緒に考えていくものです。

対象：医療通訳の制度化を目指している団体、担当者の方
定員：20名 会場：カンファレンスルームD（中央棟4F）



コーディネーター

重野亜久里 多文化共生センターきょうと 代表

西村 明夫 多文化医療サービス研究会 代表

2 本音で語り合おう私たち（通訳）のこと

通訳者同士で、気になっていることについて、通訳者としての悩み、他の通訳者に聞いてみたいことなどを本音で語り合う参加型のワークショップです。「医療通訳者の責任」「通訳者としてのスキルアップ」「自己ケア」など、通訳者自身が抱えているさまざまな問題や気なるトピックについて、小グループディスカッション形式で共有、じっくり話し合います。

対象：通訳として活動している人（プロ・アマ、通訳言語は問いません）
定員：30名 会場：中会議室（中央棟4F）



ファシリテーター

Lorraine Sakka 福井県立大学 学術教養センター 准教授

岡本悠馬 鍼灸師・中国語医療通訳・翻訳者

*当日は、小さなグループに分かれて話し合います。通訳者以外のオブザーバ参加はできません。参加希望の通訳者の方は是非、話し合いたいテーマを提案ください。

3 医療従事者に求められる異文化間能力とは？

近年、在住外国人の増加により医療機関における外国人患者の受診は日常化し、外国人看護師の来日によって外国人医療従事者と協働する機会も増えてつづきます。こうした変化の中、医療従事者の異文化理解、異文化間能力の必要性は益々高くなってきています。このセッションでは日米英の医療現場で働いてきた医療従事者の視点から医療職者に求められる異文化間能力について考えます。

会場：第1講義室（南棟1F）



パネリスト

加藤 陽一 京都府立医科大学大学院医学研究科
救急・災害医療システム学救急医療学教室 助教

塩野 さゆり 看護師、京都橘大学大学院看護学研究科

Workshop

15:30~17:30

※途中入場は
できません

